

天明由緒

四

才修巻

服部正光

松口久光

古島隆次

三浦重行

三浦重光

島本 同

河野重光



山崎正光

吉村久光

久延謙部

向井重光

新井重光

井口重光

山崎重光

吉村謙部

久延重光

中野重光

新井重光

山崎重光

廣南重光



























はなはたしむるに、  
百八十八年、  
十一年、

七十九年

- 一 百八十八年
- 一 百八十七年
- 一 百八十六年
- 一 百八十五年
- 一 百八十四年
- 一 百八十三年
- 一 百八十二年
- 一 百八十一年
- 一 百八十年
- 一 百七十九年
- 一 百七十八年
- 一 百七十七年
- 一 百七十六年
- 一 百七十五年
- 一 百七十四年
- 一 百七十三年
- 一 百七十二年
- 一 百七十二年
- 一 百七十一年
- 一 百七十年
- 一 百六十九年
- 一 百六十八年
- 一 百六十七年
- 一 百六十六年
- 一 百六十五年
- 一 百六十四年
- 一 百六十三年
- 一 百六十二年
- 一 百六十一年
- 一 百六十年
- 一 百五十九年
- 一 百五十八年
- 一 百五十七年
- 一 百五十六年
- 一 百五十五年
- 一 百五十四年
- 一 百五十三年
- 一 百五十二年
- 一 百五十一年
- 一 百五十年
- 一 百四十九年
- 一 百四十八年
- 一 百四十七年
- 一 百四十六年
- 一 百四十五年
- 一 百四十四年
- 一 百四十三年
- 一 百四十二年
- 一 百四十一年
- 一 百四十年
- 一 百三十九年
- 一 百三十八年
- 一 百三十七年
- 一 百三十六年
- 一 百三十五年
- 一 百三十四年
- 一 百三十三年
- 一 百三十二年
- 一 百三十一年
- 一 百三十年
- 一 百二十九年
- 一 百二十八年
- 一 百二十七年
- 一 百二十六年
- 一 百二十五年
- 一 百二十四年
- 一 百二十三年
- 一 百二十二年
- 一 百二十一年
- 一 百二十年
- 一 百一十九年
- 一 百一十八年
- 一 百一十七年
- 一 百一十六年
- 一 百一十五年
- 一 百一十四年
- 一 百一十三年
- 一 百一十二年
- 一 百一十一年
- 一 百一十年
- 一 百零九年
- 一 百零八年
- 一 百零七年
- 一 百零六年
- 一 百零五年
- 一 百零四年
- 一 百零三年
- 一 百零二年
- 一 百零一年
- 一 百零年

河井三三郎  
豊前守

一 後、  
一 百八十八年、

一 百八十七年、  
一 百八十六年、

一 百八十五年、  
一 百八十四年、

一 百八十三年、  
一 百八十二年、

一 百八十一年、  
一 百八十年、

一 百七十九年、  
一 百七十八年、  
一 百七十七年、  
一 百七十六年、  
一 百七十五年、  
一 百七十四年、  
一 百七十三年、  
一 百七十二年、  
一 百七十二年、  
一 百七十一年、  
一 百七十年、  
一 百六十九年、  
一 百六十八年、  
一 百六十七年、  
一 百六十六年、  
一 百六十五年、  
一 百六十四年、  
一 百六十三年、  
一 百六十二年、  
一 百六十一年、  
一 百六十年、  
一 百五十九年、  
一 百五十八年、  
一 百五十七年、  
一 百五十六年、  
一 百五十五年、  
一 百五十四年、  
一 百五十三年、  
一 百五十二年、  
一 百五十一年、  
一 百五十年、  
一 百四十九年、  
一 百四十八年、  
一 百四十七年、  
一 百四十六年、  
一 百四十五年、  
一 百四十四年、  
一 百四十三年、  
一 百四十二年、  
一 百四十一年、  
一 百四十年、  
一 百三十九年、  
一 百三十八年、  
一 百三十七年、  
一 百三十六年、  
一 百三十五年、  
一 百三十四年、  
一 百三十三年、  
一 百三十二年、  
一 百三十一年、  
一 百三十年、  
一 百二十九年、  
一 百二十八年、  
一 百二十七年、  
一 百二十六年、  
一 百二十五年、  
一 百二十四年、  
一 百二十三年、  
一 百二十二年、  
一 百二十一年、  
一 百二十年、  
一 百一十九年、  
一 百一十八年、  
一 百一十七年、  
一 百一十六年、  
一 百一十五年、  
一 百一十四年、  
一 百一十三年、  
一 百一十二年、  
一 百一十一年、  
一 百一十年、  
一 百零九年、  
一 百零八年、  
一 百零七年、  
一 百零六年、  
一 百零五年、  
一 百零四年、  
一 百零三年、  
一 百零二年、  
一 百零一年、  
一 百零年





一 高野山に於ける書院の事  
高野山に於ける書院の事  
高野山に於ける書院の事  
高野山に於ける書院の事  
高野山に於ける書院の事  
高野山に於ける書院の事  
高野山に於ける書院の事  
高野山に於ける書院の事  
高野山に於ける書院の事  
高野山に於ける書院の事

一 高野山

高野山の中

高野山に於ける書院の事

高野山に於ける書院の事

一 高野山

高野山に於ける書院の事

一 高野山

高野山

高野山に於ける書院の事  
高野山に於ける書院の事  
高野山に於ける書院の事  
高野山に於ける書院の事  
高野山に於ける書院の事  
高野山に於ける書院の事  
高野山に於ける書院の事  
高野山に於ける書院の事  
高野山に於ける書院の事  
高野山に於ける書院の事

高野山

高野山

高野山

高野山

高野山

高野山

高野山

高野山

高野山

Handwritten text, possibly a signature or name, oriented vertically.



一 此の如く其の如く...  
二 此の如く其の如く...  
三 此の如く其の如く...  
四 此の如く其の如く...  
五 此の如く其の如く...

一 此の如く其の如く...  
二 此の如く其の如く...  
三 此の如く其の如く...  
四 此の如く其の如く...  
五 此の如く其の如く...

一 此の如く其の如く...  
二 此の如く其の如く...  
三 此の如く其の如く...  
四 此の如く其の如く...  
五 此の如く其の如く...

一 此の如く其の如く...  
二 此の如く其の如く...  
三 此の如く其の如く...  
四 此の如く其の如く...  
五 此の如く其の如く...

此の如く其の如く





一日三月十日... 此後同

此後同... 此後同

此後同... 此後同

此後同... 此後同

此後同... 此後同

此後同... 此後同

一 此後同

此後同

此後同

此後同

此後同

此後同

此後同

此後同

此後同

此後同... 此後同

此後同... 此後同

此後同... 此後同

此後同... 此後同

此後同... 此後同













その後の事... 一

... 日

... 大

... 一

... 日

... 一

... 日

... 一

... 日

... 一

... 日

... 一



















東の正統の事は其の如し

一 在島那方の事は其の後記に記す事ありしに人知れず  
此の事も其の後記に記す事ありしに人知れず  
其の事も其の後記に記す事ありしに人知れず

一 此の事も其の後記に記す事ありしに人知れず  
其の事も其の後記に記す事ありしに人知れず  
其の事も其の後記に記す事ありしに人知れず  
大徳院様記す事ありしに人知れず  
其の事も其の後記に記す事ありしに人知れず

一 其の事も其の後記に記す事ありしに人知れず  
其の事も其の後記に記す事ありしに人知れず  
其の事も其の後記に記す事ありしに人知れず  
其の事も其の後記に記す事ありしに人知れず  
其の事も其の後記に記す事ありしに人知れず

























Handwritten text in cursive style, likely a letter or document. The text is dense and fills most of the page.

中出久翁由緒

一 芳四又

中出久翁傳

大徳後林清... 中出久翁傳... 芳四又

Main body of handwritten text in cursive style, continuing the narrative or letter. It includes various characters and some smaller annotations.

























先世遺傳は其の世に於て一に其の世に於て  
先世遺傳は其の世に於て一に其の世に於て  
先世遺傳は其の世に於て一に其の世に於て  
先世遺傳は其の世に於て一に其の世に於て  
先世遺傳は其の世に於て一に其の世に於て

一 復文

初回書

先世遺傳は其の世に於て一に其の世に於て  
先世遺傳は其の世に於て一に其の世に於て  
先世遺傳は其の世に於て一に其の世に於て  
先世遺傳は其の世に於て一に其の世に於て  
先世遺傳は其の世に於て一に其の世に於て

一 文

初回書

先世遺傳は其の世に於て一に其の世に於て  
先世遺傳は其の世に於て一に其の世に於て  
先世遺傳は其の世に於て一に其の世に於て  
先世遺傳は其の世に於て一に其の世に於て  
先世遺傳は其の世に於て一に其の世に於て

一

初回書

先世遺傳は其の世に於て一に其の世に於て  
先世遺傳は其の世に於て一に其の世に於て  
先世遺傳は其の世に於て一に其の世に於て  
先世遺傳は其の世に於て一に其の世に於て  
先世遺傳は其の世に於て一に其の世に於て

平原のちとて山形に於て其の地味は山形に同く多し其の地味は  
山形に同く多し其の地味は山形に同く多し其の地味は山形に同く多し  
又入りたるは山形に同く多し其の地味は山形に同く多し其の地味は  
山形に同く多し其の地味は山形に同く多し其の地味は山形に同く多し  
七重の山

移用 七

山形に同く多し其の地味は山形に同く多し其の地味は山形に同く多し

山形に同く多し其の地味は山形に同く多し其の地味は山形に同く多し  
山形に同く多し其の地味は山形に同く多し其の地味は山形に同く多し  
山形に同く多し其の地味は山形に同く多し其の地味は山形に同く多し  
山形に同く多し其の地味は山形に同く多し其の地味は山形に同く多し

移用 七

山形に同く多し其の地味は山形に同く多し其の地味は山形に同く多し  
山形に同く多し其の地味は山形に同く多し其の地味は山形に同く多し  
山形に同く多し其の地味は山形に同く多し其の地味は山形に同く多し  
山形に同く多し其の地味は山形に同く多し其の地味は山形に同く多し

移用 七

山形に同く多し其の地味は山形に同く多し其の地味は山形に同く多し







一 此の如くは、

井上清行の書

井上清行

一 復

一 此の如くは、

井上清行

一 又

一 此の如くは、

一 此の如くは、











後述諸君は此の交元百有六の年唐人の所居より唐書を撰及  
る可なり唐書元甲子の年唐書撰及唐書元甲子の年唐書撰及  
る可なり唐書元甲子の年唐書撰及唐書元甲子の年唐書撰及  
唐書元甲子の年唐書撰及唐書元甲子の年唐書撰及

唐書

上田氏

日唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及  
唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及

唐書

日唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及

唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及

唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及

唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及  
唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及  
唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及  
唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及

唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及

唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及  
唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及  
唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及  
唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及唐書撰及







